

別紙1 画像診断システム要求仕様書

要求仕様							必須
4						超音波部門システム	
4	1					共通	
4	1	1				基本要件	
4	1	1	1			超音波部門から発生する画像（静止画および動画データ）に関しては、院内のPACSに保存し、システム連携を行うこと。	○
4	1	1	2			超音波部門から発生する画像・レポートは全て電子カルテシステム（統合診療支援システム）に連携を行うこと。 尚、電子カルテシステム側に発生する連携費用も本調達に含めること。	○
4	1	1	3			インストールが必要な部門システム専用のクライアントソフトウェアは当センターの電子カルテ端末上への相乗りが可能であること。	○
4	1	1	4			システムバックアップはNASによるバックアップではなく、復旧が容易なバックアップサーバによるバックアップを行うこと。	○
4	1	1	5			サーバ構成はPACS側の仮想化基盤へ構築すること。	
4	2					ソフトウェアの基本要件	
4	2	1				画像ファイリング・参照機能	
4	2	1	1			院内のPACSを活用し、超音波画像を保存すること。既存システムとはAccession#を用いた連携を行い、たとえば本システムでのレポート作成時、1クリックもしくは自動で該当検査に対する既存PACSが起動し、参照やキーイメージの添付ができること。	○
4	2	1	2			DICOMフレームレートを考慮して動画像をシネ表示できること。	
4	2	1	3			複数の動画像シリーズを同時にシネ表示できること。	
4	2	1	4			可変フレームレートが指定された場合でも、DICOMフレームレートを考慮して動画像をシネ表示できること。	
4	2	1	5			シネ表示された画像をMPEG、AVIファイルに出力する際、患者情報を匿名化するアノテーションが全フレームに適用できること。	
4	2	1	6			USモダリティの検査に対して計測が行えること。計測は「Region Spatial Format」の「2D」、「M-Mode」、「Doppler」に対して実施できること。	
4	2	1	7			計測結果を検査単位でXML出力できること。	
4	2	1	8			計測結果の保存権限がユーザロール単位で制御できること。	
4	2	1	9			USモダリティ検査のDICOM SRファイルから装置で実施した計測結果の取り込みができること。	
4	2	1	10			USモダリティの検査画像に対して、シリーズ画像の並び替えがビューワから行えること。並び替え操作はサムネイル画像のドラッグ操作で行い、表示・非表示の状態も変更できること。	
4	2	3				受付・ワークリスト管理	
4	2	3	1			超音波オーダの検査状態として、依頼中・受付済・検査中・実施済・仮報告・承認待ち・報告済・中止を管理する機能を有すること。	○
4	2	3	2			超音波オーダ状況一覧は、検査種別・患者ID・カナ氏名・性別・生年月日・入外区分・診療科・病棟・検査日（日付範囲）・検査状態を検索条件としてその検索結果を一覧表示する機能を有すること。	○
4	2	3	3			検索条件は各検査室端末別に初期状態を設定する機能を有すること。	○

別紙1 画像診断システム要求仕様書

要求仕様						必須
4	2	3	4		検索結果の超音波オーダ状況一覧は、検査日・検査時間・検査種別・検査項目・患者ID・カナ氏名・漢字氏名・性別・生年月日・年齢・体重・身長・診療科・病棟・検査状態・依頼医・検査コメント・依頼日時・検査終了時間・アクセスセッションNoを表示する機能を有すること。	○
4	2	3	5		医療情報システムダウン時に備え、超音波検査依頼情報を作成・登録し検査を続行する機能を有すること。	○
4	2	3	6		超音波オーダ状況一覧は、表示順を各項目別に並び替える機能を有すること。	○
4	2	3	7		超音波オーダ状況一覧に表示する項目の表示有無や表示順を各端末別に任意に設定する機能を有すること。	○
4	2	3	8		超音波オーダ状況一覧は、検査状態別に色分けして表示する機能を有すること。	○
4	2	3	9		超音波オーダ状況一覧の各検査状態別合計件数を表示する機能を有すること。	○
4	2	3	10		超音波オーダ状況一覧の内容を一定時間毎に自動的に更新する機能を有すること。	○
4	2	3	11		患者IDカード・バーコード等により、該当患者の当日の検査一覧を表示する機能を有すること。	○
4	2	3	12		検査ラベルにバーコードを印字する機能を有すること。	○
4	2	3	13		検査受付時または任意の時点で、検査ラベルを指定された書式により印刷する機能を有すること。	○
4	2	3	14		受付操作により検査状態を依頼中から受付済に変更する機能を有すること。	○
4	2	3	15		検査受付時、受付情報を医療情報システムに通知する機能を有すること。	○
4	2	3	16		複数の検査を選択し一度に受付操作を行う機能を有すること。	○
4	2	3	17		超音波オーダ状況一覧から、選択した該当患者の当日における他の超音波オーダ一覧を表示する機能を有すること。	○
4	2	3	18		超音波オーダ状況一覧の内容を検査ワークシートとして任意の時点で印刷する機能を有すること。	○
4	2	3	19		検査受付時、オーダ確認操作により医療情報システムで依頼されたオーダ詳細情報(至急検査依頼、出張検査依頼等)を参照する機能を有すること。	○
4	2	3	20		受付時に検査項目に応じた帳票を発行する機能を有すること。	○
4	2	3	21		エコー検査など受付済の検査をどの部屋で行うかをプランニングできる部屋割り機能を有すること。 部屋割り機能は、受付済み検査を部屋と時間帯を表記したボックスにドラッグ&ドロップすることで実現できること。	
4	2	3	22		部屋割り機能を用いることで、どの検査(検査項目、患者)をどこの部屋で誰が実施しており、また検査開始から何分経過しているかをひとめであらわす状況表示機能を有すること。	
4	2	4			検査開始機能	
4	2	4	1		各超音波検査室端末において、当該検査室における該当超音波検査の受付済検査オーダ一覧を表示する機能を有すること。	○

別紙1 画像診断システム要求仕様書

要求仕様						必須
4	2	4	2		受付済検査オーダー一覧から、検査オーダーを選択し検査開始操作により検査状態を受付済から検査中に変更する機能を有すること。	○
4	2	4	3		検査開始時、医療情報システムで依頼されたオーダー詳細情報を参照する機能を有すること。	○
4	2	5			検査実施機能	
4	2	5	1		各超音波検査室端末において検査終了時、検査実施操作により検査状態を検査中から実施済に変更する機能を有すること。	○
4	2	5	2		検査実施操作時、検査内容の変更・追加薬剤情報・追加加算情報・検査者を入力し、医事情報として医療情報システムに通知する機能を有すること。	○
4	2	5	3		一度入力した検査実施内容を変更し、医事情報として医療情報システムに通知する機能を有すること。	○
4	2	5	4		検査実施情報は検査種別毎に初期表示項目を設定する機能を有すること。	○
4	2	6			検査レポート機能	
4	2	6	1		レポートはセキュリティの担保とトレーサビリティの担保のため版管理を行うことができること。	○
4	2	6	2		確定レポートに関して編集をする場合は、次版作成とし、これまで作成された確定レポートは全て版ごとに保存されていること。 また、過去に作成された版番のレポートをレポート作成中に同一端末にてすぐに参照することができること。	○
4	2	6	3		各超音波検査室端末において報告書作成時、検査報告操作により検査状態を実施済から報告済に変更する機能を有すること。	○
4	2	6	4		各種超音波検査向け専用報告書入力画面を作成することが可能なこと。	○
4	2	6	5		専用報告書入力画面は、検査項目ごとに当センターが指定する書式で作成すること。書式は以下の書式の用意が可能であること。 ・心臓エコー・小児心臓エコー・経食道エコー・腹部エコー・血管エコー・表在エコー・乳腺エコー・甲状腺エコー・腎臓エコー・頸動脈エコー・下肢動脈エコー・下肢静脈エコー・関節エコー・胎児エコー	
4	2	6	6		DICOM SR対応の超音波検査機器からSR情報を受信することが可能なこと。受信したSR情報は超音波レポートへの転記が可能なこと。	
4	2	6	7		事前に登録した定型文を呼び出し所見・コメント等をレポートに入力する機能を有すること。	○
4	2	6	8		所見・コメント内容の定型文は、ユーザが自由に追加・修正・削除できる機能を有すること。	○
4	2	6	9		所見・コメント内容の定型文は、複数テキストを選択した場合、選択したテキスト同士の区切りを改行、コンマ、スペースのいずれかで選択できること。	○
4	2	6	10		リストボックス、チェックボックスからの選択により、容易にレポートを作成する機能を有すること。	○
4	2	6	11		同一検査項目の直近過去データを1クリックで転記することが可能であること。	○
4	2	6	12		事前に登録したテンプレートシェーマを呼び出す機能を有すること。	○
4	2	6	13		キー画像の選択がドラッグ&ドロップの操作で可能であること。	○

別紙1 画像診断システム要求仕様書

要求仕様						必須
4	2	6	14		画像をクリップボードからレポートに貼り付ける機能を有すること。	○
4	2	6	15		画像やPDFをファイルからレポートに貼り付ける機能を有すること。	○
4	2	6	16		キー画像のレポートへの添付は10枚以上行えること。	○
4	2	6	17		スキャナーと連動し、読み取った画像を直接レポートに貼り付ける機能を有すること。	○
4	2	6	18		レポートに貼り付けた画像に画像タイトルを入力する機能を有すること。	○
4	2	6	19		シェーマ、画像を問わず以下のアノテーションが利用できること。 ・直線、円、矩形、矢印、文字入力、色、修正ペン（オリジナルシェーマの修正）、消しゴム	○
4	2	6	20		各種検査レポートがプリンタなどで出力できる機能を有すること。印刷フォーマットは検査項目毎に設定でき、レポートを入力するためのフォーマットとは区別されること。	○
4	2	6	21		仮保存状態の検査レポート（未完了検査も含む）は、レポート上仮保存状態であることを明示したうえで配信が可能なこと。	○
4	2	6	22		一時保存状態を持ち、院内に配信しない状態での保存ができること。	○
4	2	6	23		医療情報システムから、患者ID連携により該当患者の検査履歴を検索表示する機能を有すること。	○
4	2	6	24		医療情報システムから、オーダ番号により該当レポートを直接参照可能な機能を有すること。	○
4	2	6	25		超音波診断装置からの計測値情報を、レポートに自動的に埋め込む機能を有すること。	
4	2	6	26		レポートソフトウェアはバージョンアップ管理や、本システムを更新する際のデータ移行を鑑み、データ移行が現実的に困難な汎用ソフトウェアではなく、メーカーが開発し、保証するプロダクトとしてのレポートソフトウェアであること。	○
4	2	6	27		既存システムに保存された検査レポートはデータ移行を行うこと。尚、データ移行費用も本調達に含めること。	○
4	2	6	28		ユーザ毎に定型文の設定ができること。	
4	2	6	29		レポート作成中に任意の時間毎に自動でレポート作成内容が保存されること。	
4	2	6	30		ユーザ毎に実施したレポート一覧が初期画面で表示できること。	
4	2	6	31		全画像選択をワンクリックで出来て、レポートにワンクリックで貼り付けられること。	
4	2	7			検査中止	
4	2	7	1		各超音波検査室端末において、検査中止操作により検査状態を中止に変更する機能を有すること。	○
4	2	7	2		検査中止操作時、検査中止情報を医療情報システムに通知する機能を有すること。	○
4	2	7	3		各超音波検査室端末において、誤操作等による検査状態を以前の状態に戻す機能を有すること。	○
4	2	7	4		検査前状態操作時、必要に応じ検査状態変更情報を医療情報システムに通知する機能を有すること。	○
4	2	8			検索・集計・統計	
4	2	8	1		検査日報を指定された書式で印刷する機能を有すること。	○

別紙1 画像診断システム要求仕様書

要求仕様						必須
4	2	8	2		検査月報を指定された書式で印刷する機能を有すること。	○
4	2	8	3		検査年報を指定された書式で印刷する機能を有すること。	○
4	2	8	4		エコーレポートのテンプレートに入力した数値データでの検索を実施できること。	○
4	2	8	5		エコーレポートのテンプレートに入力した数値データでの検索において、以上、以下、範囲、の範囲指定を行い検索を実施できること。	○
4	2	8	6		診断名や所見のテキスト情報での検索を実施できること。全部一致だけでなく部分一致などのあいまい検索が可能であること。 また、あわせて全体コメントの部分についてもテキスト情報での検索が可能であること。	○
4	2	8	7		検索項目に関しては各項目をand/orで連携することができること。連結された検索条件は視認性確保のため、着色された傍線で連結されていることが視認できること。	○
4	2	8	8		検査業務改善の指針とするため、検査開始時刻から検査終了時間の差分や、受付開始から検査終了時刻の差分をとることができること。	
4	2	8	9		上記の差分時間をワークリスト上に表示することができること。さらに、CSVファイルなどで出力することができること。	○
4	2	8	10		CSVファイルに出力する際、指定項目を選択し出力することができること。	○
4	2	8	11		検索範囲はレポート内容だけではなく、実施情報も含まれること。	○
4	3				その他	
4	3	1			保守・実績	
4	3	1	1		超音波領域専用の運用システムとして30施設以上の実績があること。	○
4	3	1	2		迅速なサポート体制を実現するため、埼玉県内にサービスステーションを有していること。	○
4	3	1	3		操作マニュアルは全ての機器について、日本語版を有すること。	○